地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

平成29年1月13日

協議会名: 海津市地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況		④事業実施の適切性		⑤目標•効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
【補助対象となる事業者名 等の名称を記載】	等及び公有民営方式車両購入	業を実施したかを記載】	A·B·C評価	【計画に基づく事業が適切に実施されたかを記載。計画どおり実施されなかった場合には、理由等記載】	A·B·C評価	【計画に位置付けられた定量的な目標・効果が達成されたかを、目標ごとに記載。目標・効果が達成できなかった場合には、理由等を分析の上記載】	【事業の今後の改善点及びより適切な目標を記載。改善策は、事業者の取り組みだけでなく、地域の取り組みについて広く記載。特に、評価結果を生活交通確保維持改善計画にどのように反映させるか(方向性又は具体的な内容)を必ず記載すること。】 ※なお、当該年度で事業が完了した場合はその旨記載
スイトトラベル株式会社	デマンド交通 市内全域360か所、市外3か所 の停留所	平成27年10月からのため前 回の事業評価実績なし	評	補助対象期間の開始日以 来、運休等はなく、計画どお り適切に実施された。	B評価	海津市コミュニティバス(デマンドを含む)の年間利用者数の目標132,000人 →H28年度実績は、113,117人/年であり、未達成 減少の要因として、高校生の通学利用や土日運行をしていないことが前年比マイナスとなった。	《取組》 ①海津市コミュニティバスの企画切符等検討 ②観光客受け入れのためのデマンド交通予約方法等の検討 ③海津羽島線の海津温泉・石津駅への延伸(H28.10月から実施中) ④地域との協働の取組(利用促進に向けた住民意見交換会等の開催) これらの取組を生活交通確保維持改善計画に反映し、利用者増につなげていく。

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

平成29年1月13日

協議会名:	海津市地域公共交通会議
評価対象事業名:	地域公共交通確保維持事業(陸上交通における地域内フィーダー系統)
地域の交通の目指す姿(事業実施の目的・必要性)	海津市では8路線の定時定路線型コミュニティバスを、隣接市・鉄道駅と接続し通勤・通学利用が可能な広域移動用の幹線3路線(海津羽島線、南幹線、お千代保稲荷線。定時定路線型)と、主に昼間の買い物・通院・温泉利用を想定したデマンド交通に再編し、養老鉄道・名阪近鉄バスによる広域幹線との接続を図るとともに、隣接する養老町・輪之内町・羽島市のコミュニティバス・デマンド交通とも広域連携し、地域全体として利便性の高いネットワークを構築する。この公共交通再編事業の実施を円滑かつ効果的に実施し、海津市のまちづくりと広域との連携による公共交通サービスを維持するため、地域公共交通確保維持改善事業を実施する。 ◆ 公共交通の将来像 【まちづくりと連携して日常生活に必要な公共交通を確保することにより、定住促進・地域の活性化を目指す】 ◆公共交通の基本方針 ①養老鉄道・名阪近鉄バスのサービス充実 ②養老鉄道・名阪近鉄バスのサービス充実 ②養老鉄道・名阪近鉄バスと海津市コミュニティバスとの接続強化 ③朝夕の通勤・通学対応と昼間の買い物・通院・温泉利用等の市民ニーズ及び観光に配慮した海津市コミュニティバスネット ワークの形成 ④公共交通を守り育てる体制づくり